

駐妻のヒューストン日記

第204回 大島智子 さん



家族6人、Katyでひっそりと暮らしています。先日、我が家にしては大きな出来事がありました。HOA (Home Owners Association) からお達しがあり、庭の枯れたヤシの木を取り除いてほしいというのです。今年の大寒波でダメージを受けた我が家のヤシの木は、9本中2本は新しい葉を出したものの、残りは沈黙。回復まで数年はかかるだろうと思っていた矢先のお達しです。コミュニティーの景観を守るためとはいえ、10m級の本木が切り倒される光景は衝撃でした。切なくなり入居当時の写真を見返していたら、ヤシの木も子供たちもまだ小さい!それもそのはず、アメリカに来てから気づけばもう5年近くたっているのです。



我が家は2016年末に渡米、3人の子供たちは当時7才、6才、3才でした。翌年にはもう一人新規加入し、にぎやかな6人家族がスタートしました。家事が苦手な私にとっては毎日が大変ですが、なかでも早朝の子供たちのお弁当作りには頭を悩ませてきました。何度、日本だったら栄養満点で美味しい給食が提供されるのと思ったことか。アメリカの学校でもランチを買えるのですが、お弁当がいいと子供に言われると

頑張らないわけにはいきません。日々折れそうになる心を励ましてくれたのは、意外にもお弁当を見たクラスメイトや先生の反応でした。私が作るお弁当はキャラ弁でもなんでもなく、ごくごく普通のお弁当なのですが、それでも「美味しそう!」「これは何?」「一つだけちょうだい!」「あなたのお弁当、大好き!」などと言われたと子供たちから聞くと、本当にささやかなことですが、日本の文化を広める一端を担えているのかなと誇らしい気持ちになります。

そして、てんやわんやな毎日に容赦なくやって来るのが、数々のイベントです。子供たちの誕生日はもちろん、イースターのエッグハント、ハロウィーン、そして家々のイルミネーションが輝くクリスマスなどは特に、子供たちにとっては夢のように楽しいイベントです。せっかくアメリカにいるのだし、我々も頑張らないわけにはいきません。だんだんと、上の子は下の子のサポートにまわってくれるようになり、成長も感じさせてくれます。このように家族みんなで過ごす一週間、一ヶ月、一年はにぎやかに、本当にあっという間に過ぎてゆきます。

切り株になったヤシの木を見ながら、大家さんは「この木は20年前に、僕が自分で苗を植えたんだよ」と本当に寂しそうでした。大家さん夫婦にとって、我々が現在住むこの家は、初めて自分達で建てて、子育てをした思い入れのある家。そんな家で我々も子育てをさせてもらえるなんて、ありがたい縁を感じます。2017年のハリケーンハービー、そして2021年の大寒波にも耐え、私たち家族を守ってくれたこの家。不具合にブツブツ文句を言ったりもしていたけれど、今回のことで改めてこの家への感謝の気持ちが深まりました。最後となるかもしれない今年の大掃除は、そんな気持ちを込めて、家族みんなで家中をピカピカにしようと思います。



ヒューストン 日本語補習校

9月4日、対面授業のガイドライン に沿って対面授業を開始!

9月4日、2019年3月以来1年5か月ぶりとなる対面授業を開始しました。どんな様子で子供たちは登校してくるのだろう?不安で泣き出している子はいないかな?など、色々な思いを抱きながら登校時間を待ちました。登校時間になると、ほとんどの子供たち、保護者の皆様方もガイドラインに示した内容に沿った送迎に心掛けていただきました。初日にはガイドラインを熟知されていない保護者の方も見られましたが、登校日を重ねるごとに段々とガイドラインに沿った送迎が行われています。



また、2019年の対面授業時と比べ、登下校時の校舎内における保護者の数が激減し、十分に保護者間のスペースが取れる状況となっています。さらに、保護者間の会話もほとんどなく静かな送迎の様子が見られます。今後も送迎時のガイドラインをご確認いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い致します。

入園入学後、リモート授業しか経験していない幼稚園の園児、小学部1,2年の児童は、どのような様子だろうと思いながら学級訪問をしました。子供たちは思っていた以上に授業に集中し、瞳を輝かせながら担任の話に耳を傾け、目当てに沿った学習に取り組んでいました。

また、補習校内の探検学習をしている低学年児童は、補習校内のトイレや職員室、校長室などを訪問し、初めて見る部屋に興味津々な様子でした。校長室を訪問してくれた子供たちは、室内の宇宙飛行士の写真や優勝トロフィーに関心が高く、意欲的に質問をしていました。

さらに、補習校での学習経験がある小学部、中高等部の児童・生徒は、確実にソーシャルディスタンスを心掛け、落ち着いて学習に取り組んでいます。

心配していた昼食時も席の間隔を確実に取り、黙食に心掛けながら食べていました。昼休みは芝生の上を元気に走り回る児童や体育館で友達と一緒にボール遊びをする中・高等部の生徒の伸び伸びと遊ぶ姿が印象的でした。



9月25日には、2021年度前期終業式、後期始業式をリモートで開催しました。各教室に新しく設置されたスマートパネルを活用し、大画面での視聴ができるようになり、子供たちは教室から移動することなく、また、

密になることもなく、式辞や代表児童・生徒のスピーチに聴き入っていました。

今後もCOVID-19デルタプラスの感染防止に全力を注ぎ、児童・生徒が安心・安全に対面授業の継続ができるよう教職員が一丸となり取り組んでいきます。よろしくお願い致します。



(文責: 井手登士昭校長)